スピリット 常中魂

平成２７年 ６月２４日　NO・３９

〒311-1114　水戸市塩崎町1016
TEL029-269 -2116　　FAX029-269 -3160
Mail　tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで，カラー版が見られます】

表現力の育成を図る1年生国語の学習

一年二組　荻谷　海斗

ぼくは、中学校に入って尊敬する先ぱいができました。その先ぱいはキーパーでした。でも、今のぼくは基本的なことはできても難しいプレーができません。でも、その先ぱいにどうやったら近づけるかを考えました。

一つ目は、速いボールになれるということです。ぼくは、一年生のシュートはとめられますが、二、三年生のシュートをとめるのが少しできません。

二つ目は、その速いシュートに反応する練習をするということです。尊敬する先ぱいは、三年生の速いシュートに反応でき、ぼくは、反応できません。なので早く見なれてギャップチができるキーパーになりたいです。

このような、きつい練習をたくさんして、尊敬しあこがれている先ぱいに一つでも近づいて、逆に尊敬されるキョパ十の先ぱいになりたいです。

20×20

なので、少しでも反応できるよう努力したいです。

23日（火）の５校時に1年2組で，教生の宮本先生【指導教官・大沼教諭】の指導により『友達の発表を，段落の構成に注意してしっかりと聞く』という国語の授業が行われた。

本校では，本年度学校全体で「表現力の育成」に取り組んでいる。この授業には，表現力育成のための学習の在り方に対する優れた提案があった。例えば，少人数による作業を学習に取り入れること。しかも少人数を３人に絞ったこと。また，自分の考えを全体の中に位置付けられるような発表の場と，意見の交換の場を位置付けたこと，などだ。発表内容も上記の荻谷さんの作品のように，心にしみる内容が多かった。このような学習をぜひとも続けたい。